

岩崎元郎が選んだ新日本百名山

※県境にまたがる山は、主な登山口のあるほうに区分した

都道府県	番号	山名	岩崎氏の解説
北海道	①	礼文岳	花の美しい礼文島のでっぺん。海に浮かぶ利尻山の最高の展望台だ。登山口が本当に海辺というのも面白い。登るべき高度差は490m、ゆっくり登ればだれだって山頂に立てる。
	②	利尻山	「利尻島はそのまま利尻岳であった」と深田久弥さんが『日本百名山』に書かれているように、利尻山は最北の海に浮かぶ美しい山。名山中の名山ということで外すわけにはいきまい。
	③	雌阿寒岳	雄阿寒岳1370mと対になっているが、こちらのほうが高いのと「雌」であるせいか登りが楽。登り口にある野中温泉がひなびていて気に入っているし、オンネットーへとぐるり一周できる。
	④	大雪山	広大な台地の上に2000m超の頭峰を点在させている北海道の屋根。ロープウエーを利用して比較的、容易に最高峰である旭岳に立てる。本州にはないスケールの大きさが魅力。
	⑤	藻岩山	札幌市のシンボルといえる山であり、市民のオアシスとなっている。札幌駅からバス30分で登山口、大都会の山なのにモイワシャジンほか、この山の名のついた植物もいくつかある。
	⑥	羊蹄山	蝦夷富士とも呼ばれる秀麗な山。本当は後方羊蹄山と書いて「しりべしやま」と読む。天気恵まれさえすれば足を上げていだけで山頂に立てる。白いシラネアオイをこの山で見た。
	⑦	恵山	海辺から見上げると高山の風がある。賽ノ河原まで車で上がれば、山頂まで1時間余。目の下に広がる大海原が魅力。海辺にある温泉がこれまたいい。山椒は小粒でもピリリと辛いのだ。
青森	⑧	大尽山	死者の霊は死後、恐山にゆくという。大尽山は蓮華八葉と呼ばれる恐山の外輪山の一つ。三角形の均整のとれた山である。近年復元された恐山参道から峠に立ち、頂上に登ってみる計画だ。
	⑨	八甲田山	酸ヶ湯、城ヶ倉温泉、谷地温泉、猿倉温泉、薦温泉、八甲田温泉と、これだけの名湯を点在させているだけで、新日本百名山の資格十分。草紅葉の毛無岱が好きだ。ブナの紅葉がすばらしい。
	⑩	岩木山	往年の大クライマー、ワルテル・ポナッティ氏と奥様のロッサナ・ポDESTaさんと一緒に登った山。滞日の中でいちばん楽しい一日だったとおっしゃっていた。思い出の山である。
	⑪	白神岳	世界遺産の白神岳である。新百名山として外すわけにはいきまい。1度登ったことがある。そのときは往復登山だったので、還暦記念に際しては、十二湖へと縦走するつもりだ。
岩手	⑫	七時雨山	山名の響きがいい。雨飾山と双壁であろう。周囲が牧場でのんびりしているのがいい。七時雨山荘のテラスでのんびりビールを飲んでいるだけで訪れたかいのある山。山荘には温泉もある。
	⑬	岩手山	南部富士、岩手富士、南部片富士などと、眺める方向によって山容が異なる。初めて登った夏の日、火口をピンク色に染めていたコマクサが今でもまぶたに浮かぶ。周囲の温泉もハナマル。
宮城	⑭	栗駒山	みなみらんぼうさんの故郷の山。イワカガミ平から山頂まで2時間、須川温泉まで下り1時間30分というのが程良い。一度泊まってみたい湯浜温泉があり、秣岳（前衛峰）の紅葉がすばらしい。
	⑮	蔵王山	冬の樹氷が有名だが、新緑は目に鮮やかだし、盛夏にはコマクサが目を楽しませてくれ、秋の紅葉は目も覚めるばかり。エコーラインやロープウエーを利用して熊野岳に1時間ほどで立てる。
秋田	⑯	秋田駒ヶ岳	8合目までバスが上がっているから最高点の女目岳まで1時間ほど。余力があれば乳頭山まで縦走し、乳頭温泉郷に下っての一浴が魅力。黒湯、孫六湯、蟹場、鶴ノ湯、温泉めぐりもいいな。
	⑰	太平山	酒好きのために選んでみた、というのは冗談。秋田市のシンボルというべき山で、山好きの市民を多く迎えている。麓の三吉神社が格調あってよく、その奥宮がある。天然秋田杉、ブナ林も魅力。
	⑱	鳥海山	だれもが認める花の名山。ニッコウキスゲの花が一面に咲く中を登っていくのはワクワクする。頂上近くの神社のあたりでチョウカイフスマと出合える。来夏は祇川から登るつもりだ。
山形	⑲	月山	山名の美しさにかけてはベストスリーに入ると思う。夏スキーができるくらいに残雪も豊富、花もきれい。8合目までバスが上がるとなれば、まさに中高年のための名山であろう。
	⑳	大朝日岳	飯豊山と並んで東北を代表するハードな山。両方登るのは大変なので、どちらか一つなら独断でこっち。残雪が豊富で、高山植物がきれい。ヒメサユリ咲くころに訪れたい。
	㉑	西吾妻山	ロープウエーとリフト3本乗り継げば1800mの北望台、1時間30分がなれば山頂というのがうれしい。下れば白布温泉で入浴できるというのも大きな魅力。米沢牛のステーキもある。
福島	㉒	霊山	たおやかな山の多い阿武隈山地の中で例外的な岩山。コースが遊歩道並みに整備されているので、だれでも安心。子供の村の設備も見るとべきものがある。子連れで楽しめるハナマルの山。
福島	㉓	一切経山	登山口の浄土平までバスで上がれる。体力に自信のない人には吾妻小富士があり、鎌沼へのハイキングも楽しい。火山で草木がないので眺望がすこぶるいい。下れば高湯温泉がある。
	㉔	安達太良山	この山の上に本当の青い空があるのだから、新百名山に選んで当然。ゴンドラリフトを利用してラクラク山頂に立ち、くろがね小屋で源泉に入浴できるのも魅力。下れば岳温泉もある。
	㉕	磐梯山	会津を代表する山。南には猪苗代湖、北には松原湖、五色沼と人の心を落ち着かせてくれる水の風景に恵まれている。八方台からのコースにあるブナの森が好きだ。もちろん温泉も数多い。
茨城	㉖	奥久慈男体山	たかだか654mとは思えない大きな山。アプローチの水郡線と久慈川のたたずまいが心安らく。水郡線に乗って車窓を眺めているだけで満足。袋田の滝から縦走したとき、しゃべるカラスと出合った。
	㉗	筑波山	万葉の昔から富士山と並ぶ名山として知られていた。ケーブルカーとロープウエーがあるので、だれでも気軽に登れる。僕が新百名山を登るのは05年1月1日に筑波山からスタートする。
栃木	㉘	男体山	世田谷区立桜町小学校6年生のときの修学旅行は日光だった。中禅寺湖畔から見上げた男体山は大きく存在感があって心に残った。登りっぱなしのコースだが、ゆっくり登れば登れます。
群馬	㉙	谷川岳	魔の山として知られた谷川岳。双耳峰が美しい。オキノ耳のほうが14m高いが、主たる頂はトマノ耳だろう。中高年登山者はトマノ耳に立てばよし。土台山ノ家に泊まり、西黒尾根を登ってほしい。
	㉚	荒船山	名山の多い群馬県。谷川岳は上越の山なので、上信の山からこの山を選んだ。航空母艦のような山容で同定しやすい。鱧岩から船首である経塚山への頂稜をそぞろ歩くのは楽しい。
埼玉	㉛	両神山	西武線、東上線、秩父鉄道の沿線にいい山はたくさんあるが、それら秩父・奥武蔵の山々の盟主がこの山。初夏にはブッポウソウを聞くことができるという。清滝小屋に泊まりゆっくり登ろう。
千葉	㉜	烏場山	千葉県ではいちばん高いのが愛宕山で408mである。低いとはいえ魅力ある山は多く選ぶのに迷ったが、花嫁街道という名前に魅かれてこの山とした。僕にとっては未登なので楽しみな山である。